

令和8年度ひたちなか市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度ひたちなか市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) 給 水 件 数 | 73,700 件 |
| (2) 年 間 総 給 水 量 | 17,301,000 m ³ |
| (3) 一 日 平 均 給 水 量 | 47,400 m ³ |
| (4) 主要な建設改良事業 | ひたちなか市水道事業 事業費 2,892,421 千円 |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 水道事業収益	3,787,937 千円
第1項 営 業 収 益	3,045,036 千円
第2項 営 業 外 収 益	742,900 千円
第3項 特 別 利 益	1 千円

支 出

第1款 水道事業費	3,495,928 千円
第1項 営 業 費 用	3,218,978 千円
第2項 営 業 外 費 用	245,368 千円
第3項 特 別 損 失	1,582 千円
第89項 予 備 費	30,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,573,089千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 234,315千円、過年度分損益勘定留保資金 1,338,774千円で補てんするものとする。)

収 入

第1款 資本的収入	2,413,064 千円
第1項 企 業 債	2,169,000 千円
第3項 他 会 計 負 担 金	35,728 千円
第4項 工 事 分 担 金	134,926 千円
第8項 国 庫 支 出 金	73,410 千円

支 出

第1款 資本的支出	3,986,153 千円
第1項 建 設 改 良 費	2,898,402 千円
第4項 企 業 債 償 還 金	1,030,234 千円
第8項 国 庫 補 助 金 返 還 金	27,517 千円
第98項 予 備 費	30,000 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
ひたちなか市 上水道事業	2,169,000千円	普通貸借又は証券発行	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金又は地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協定するものとする。ただし、企業財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借り換えることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、600,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

第1款 水道事業費

第1項 営業費用

第2項 営業外費用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 375,445千円

(2) 交際費 100千円

(他会計からの補助金)

第9条 児童手当に要する経費を3,444千円、水道基本料金減免に要する経費を426,000千円として、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は429,444千円である。

(たな卸資産の購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、86,614千円と定める。

令和8年 3月 3日 提出

ひたちなか市長 大谷 明

令和8年 月 日 議決